

# 診療担当医表

平成27年1月現在

	1診	2診	3診	4診	5診
月	午前	竹本 範彦	藤永 泰宏	—	六浦 聖二
	午後	竹本 範彦	江川 徹	—	六浦 聖二
火	午前	田中 啓介 第2・4休診	竹本 範彦	門元 俊樹	山本 さくら
	午後	—	竹本 範彦	—	門元 俊樹 第1・3休診
水	午前	—	竹本 範彦	藤永 泰宏	—
	午後	—	竹本 範彦	江川 徹	六浦 聖二
木	午前	—	竹本 範彦	江川 徹	山本 さくら
	午後	—	竹本 範彦	藤永 泰宏 (要問い合わせ)	六浦 聖二 (要問い合わせ)
金	午前	—	竹本 範彦	藤永 泰宏	六浦 聖二
	午後	—	山中 崇	竹田 修司 第2・4休診	—
土	午前	—	竹本 範彦 第2・4休診	竹本 育聖 第1のみ 渡邊 利泰 第3のみ	—
	午後	—	—	—	—

循環器内科	竹本 範彦・藤永 泰宏・竹田 修司
内科	六浦 聖二・門元 俊樹・山本 さくら
リハビリテーション科	山中 崇
呼吸器内科	江口 誠一
消化器内科	江川 徹
神経精神科	田中 啓介
内分泌内科・腎臓内科	大出 佳寿
総合内科	渡邊 利泰・竹本 育聖

■診療時間  
午前9時～午後5時30分  
土曜日 午前中  
■休診  
第2・4土曜日  
日曜日・祭日（急患はこの限りではありません）



## ● 当院の基本方針

地域住民の健康の増進を図り、信頼される病院を目指し地域医療に貢献いたします

1. 地域に根ざした医療

3. 患者様中心の医療

5. 健全な病院経営基盤の確立

2. 医療レベルの向上

4. リハビリテーション機能の充実

## 竹本病院 ご案内



### 交通案内

土佐くろしお鉄道  
中村駅より



タクシー  
約5分



徒歩  
約15分

## 患者様の権利章典

当院では、ご利用の皆様へより良い医療をやすく安全に提供し、納得のいく医療を受けていただけるよう、努力しています。そうした私達の医療活動の前提として、患者様には以下に掲げられるような、「患者様の権利」があり、私達医療従事者にはそれを守り発展させる義務があると考えています。

あなたには、人格を持った個人として尊重される権利があります。

あなたには、必要かつ最善の医療を平等に受ける権利があります。

あなたには、十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。

あなたには、あらゆる医療記録に記録されたご自分に関する情報の提供を求める権利があります。

あなたの医療上の個人情報、およびプライバシーは保護される権利があります。



竹本病院

広報 第35号 2015年1月発行

〒787-0015 高知県四万十市右山 1973番地2

電話:0880-35-4151 FAX:0880-35-4155

発行・編集

E-mail: th-takemoto@poem.ocn.ne.jp

竹本病院広報委員会  
編集長: 杉本 一等



日本医療機能評価機構  
認定第 JC1015 号

医療法人創治 竹本病院

検索

スタッフ  
募集中

URL <http://www12.ocn.ne.jp/~takemoto>  
詳しい情報については、ホームページでご覧下さい。

## 広報誌



TAKEMOTO HOSPITAL

# 菜の花だより

あなたのための医療でありたい

# 謹賀新年

第35号  
2015年1月  
発行

医療法人創治 竹本病院



# 新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。  
 本年は医療界においては、節目の年になると考えております。  
 昨年6月には医療介護一括法が成立し、来年度には都道府県別に地域医療構想が策定されるようになります。  
 財源不足の中で、国・厚生労働省は医療費、介護費用の削減を目指しております。  
 多様に困難な時代ですが、我々の病院は地域に根差した医療介護を地道に取り組んで行く所存でございます。  
 今年も1年間よろしくお願いたします。

院長 竹本 範彦

## 竹本病院・治優園 合同忘年会



昨年末、毎年恒例の竹本病院及び治優園の合同忘年会を四万十ロイヤルホテルさんにて、とりおこないました。忘年会には、総勢210名も参加してくれ、おいしいお料理や、余興などに皆さん満足している様子でした。余興後半のくじ引き大会では、特賞に20万円分の旅行券がだされ、皆さん大盛り上がりとなりました。また、勤続15年目、20年を迎えるスタッフが6名おり、永年表彰として院長より表彰状と金一封が贈られました。  
 治優園、各メーカーの方々、当日はご参加いただき誠にありがとうございました。どうぞ本年も竹本病院を宜しくお願い致します。

### スタッフ募集

あなたの笑顔が  
活かせる職場



## 医療法人創治 竹本病院

### ワークライフバランス

当院では教育システム、育児支援の充実、多様な勤務形態を導入して、働きやすい職場作りを目指し、看護ケアの質向上へ取り組むよう取り組んでいます。

### 充実した福利厚生

特別休暇制度有り。  
結婚しても働きやすい環境です。  
(香託託児所有り)  
長期勤務者には年1度ハワイ研修もあります。

### 自然豊かな西南地域

当院は高知県西南部の四万十川に面しており、周辺にはサーフィンや釣りなどが楽しめるスポットが数々ある為、休日など利用してリフレッシュできます。

### 専任職種

医師・看護師・理学療法士  
作業療法士・言語聴覚士  
放射線技師

### 病院見学随時募集中



# 管理栄養士の健康レシピ

## ～春の使者フキノトウ編～



栄養科 主任 吉井智美



ふきのとうは、漢字で【蕨の薹】と書き、フキの花の部分になります。雪が解けると、一斉にその顔をだすことから春の使者と呼ばれています。日本原産で、その歴史は古く、縄文時代から食べられており平安時代には栽培もされていたとか。

また、冬眠から目覚めたクマがまず初めて口にするとする食べ物とも言われており、カラダの新陳代謝を活性化して目覚めさせてくれる期間限定、まさに旬の短い貴重な山菜なのです。ふきのとうは、みずみずしく透明感溢れる風味の奥に、ミネラル分が醸し出す複雑な味わいがあり、一度食べ始めると、つついとお口に運んでしまうとと言われる不思議さを持っています。

### ◎主な有効成分とその効用◎

#### ●カリウムを豊富に含んでいます

ナトリウム（塩分）を排泄する役割があり、高血圧に効果があります。また、足などのむくみをとる作用もあるそうです

#### ●苦み成分はアルカロイドとケンフェール

アルカロイドは肝機能を強化し、新陳代謝を促進します。また、ケンフェールは活性酸素などの発ガン物質を抑制する効果があります。

#### ●香りの成分はフキノリド

これには胃腸の働きを良くする健胃効果があるとされています。

### フキノトウの選び方

締まりがあり、つぼみがまだ硬く閉じていて、周りの葉で花芽が見え始める位までの物が美味しい。大きくなり過ぎた物は苦味も強すぎて美味しくないので、小ぶりの物を選んだほうが良いです。

### 保存方法

乾燥しやすいので、ポリ袋などに入れて冷蔵庫に入れておきます。それでも早めに食べる事をお勧めします。冷凍する場合は、下茹でしてアクを抜いた状態で冷凍し、使う

## ～ふきのとう味噌～

### 材料(4人分)

調理時間:15分

ふきのとう  
... 25~35g

味噌... 50g  
砂糖... 30g  
みりん... 大2



(1)ふきのとうは水洗いして、塩(材料外)を入れたお湯でさっとゆがく。



(2)(1)を流水で冷やしたら、水に少し浸してあく抜きをする。



(3)ふきのとうの水気を切って細かく刻む。調味料は合わせておく。



(4)(3)で合わせた調味料を鍋に入れ、ふきのとうを加え、混ぜながら弱火で5分弱煮詰めて完成。

今がちょうど旬のふきのとう。天ぷらもさることながら、味噌のおいしさは格別です。お鍋でゆがいた瞬間、ふきのとうの香りが漂って、春を感じさせてくれます。アツアツのご飯にのせるだけでなく、焼きおにぎり、田楽味噌としても美味しく召し上がれます。



# 卒後二年事例・症例研究発表会



当院では年1回、卒後2年目事例・症例研究会を行っております。この会の目的は新社会人、及び入職し2年たった方に今一度、日常業務を理論付け、文章にし、客観的に見て疎かになっていることや、今まで気がつかなかった事柄などを洗い出し、発表することで今後の業務につなげていくというものです。

今年、リハビリテーション科・看護部・薬剤科の3名に発表して頂きました。

薬剤科ではお薬手帳の実態調査を行い、意外にもお薬手帳の認知率、所持率共に高いことが分かったが、お薬手帳を「調剤薬局で知った」という患者さんが多く、「お薬手帳の説明を受けたことが無い」との回答も多かった。当院でのお薬手帳の説明は十分とは言えず、さらなる周知が必要と感じた。

また、病院で医師に対して現在服用しているお薬の説明時にお薬手帳を活用している人が少なく、満足な結果が得られなかった。今後は使用に関するポスターや説明文章を新たに作成し、口頭にて説明を行うなど患者さんにお薬手帳を積極的に活用してもらえよう検討していきたいと述べていました。

また、看護部では患者さんの胃瘻造設にあたり家族の代理意思決定において看護師に求める支援についての研究をされ、家族の気持ちを確認する事で看護実践のあり方を推測されていました。結果として、初期の出会いから患者さん家族に寄り添い、家族の抱える悩みや葛藤を知ろうと深く介入し、共感・同感を示していき、相互に信頼し合える関係性を構築することが必要であると同時に、看護師はチーム医療のキーパーソンであるという意識を持ち、他職種との連携を図り、家族の思いを共有しながら、方向性を一つにし協働していくことが必要であると切実に語られていた。

リハビリテーション科では、自宅生活にて著しい活動低下をきたし、自宅生活困難となり、地域包括ケア病棟に入院した患者さんの、自宅復帰を目指した症例について発表をしました。地域包括ケア病棟は入院期間60日という制限があり、リハビリ提供患者1人当たり平均2単位(40分)以上提供していること、及び在宅復帰率が7割以上でなければならないなどの基準がある。このような制限の中で、自宅にて、セルフケアが可能な状態になれるように関わることで、家族への介護負担や、周辺住民の方との交流ができることを目標に関わっていくのだが、そこにはいろいろな葛藤があり、目標に向かっていけるように業務の改善・効率化を図っていきたくて語っていました。

この卒後二年目事例・症例研究会も今年で8回目を迎え、卒後2年の方ならず、ベテランのスタッフにも事例を通して気付かされるが多々あり、参加者からは「気持ちを新たに業務に取り組める」との意見も多く出ていました。今後も患者さんに心のこもった、より良い医療を提供できるよう努力させていただきます。

# 回復期セラピストマネジャー 認定のご報告

新年あけましておめでとうございます。本年も皆さまにとりまして益々のご多幸、ご活躍の一年となりますことをお祈り申し上げます。さて、昨年私は、回復期リハビリテーション病棟協会主催で、合計18日間57講義に渡り開催される、セラピストマネジャーコース大阪会場を受講しました。様々な方たちにご協力をいただき、特に受講期間中の担当患者様には大変ご迷惑をおかけしました。この場を借りて御礼申し上げます。お陰様で無事認定試験も合格し、全課程を修了することができました。今後は、2月に開催される研究大会での認定証授与式をもって正式に認定される運びとなります。

ところで、セラピストマネジャーといいますが、患者様、ご家族にとっては聞きなれないものと思います。そもそも当院が50床有しております回復期病棟というものは、全国的にみますと、主に日常生活活動の向上による寝たきり防止と在宅復帰をかかげ、平成12年度設立当初3,293床に始まり、平成26年度には68,000床を突破、今なお増床しています。当然そこに従事するスタッフも増加の一途をたどり、増員に次ぐ増員で、現場を取り巻く状況は、情熱こそあるものの経験が浅く、若いスタッフ中心のものとなっています。その現状が、教育体系の遅れ、ひいては他職種への連携能力の未習熟を招き、チームとしての

機能を揺るがす状況に陥っています。そこで協会が平成23年度、「経験年数8年以上の現場マネジメント能力を有するセラピスト育成」を目的に、当コースを開講しました。看護部門では、リハビリ部門に先駆けること3年、ほぼ同様の要件で開講されており、昨年度の時点で全国670名の認定者が輩出され、当院回復期病棟におきましても1名の認定者が従事しております。看護部門に続き、リハビリ部門でも3年間で375名の認定者が輩出され、今回私が受講した大阪会場の93名、そして東京会場の同等数が加わることになります。

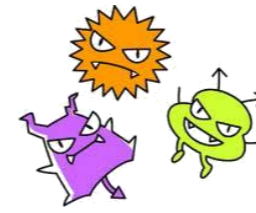
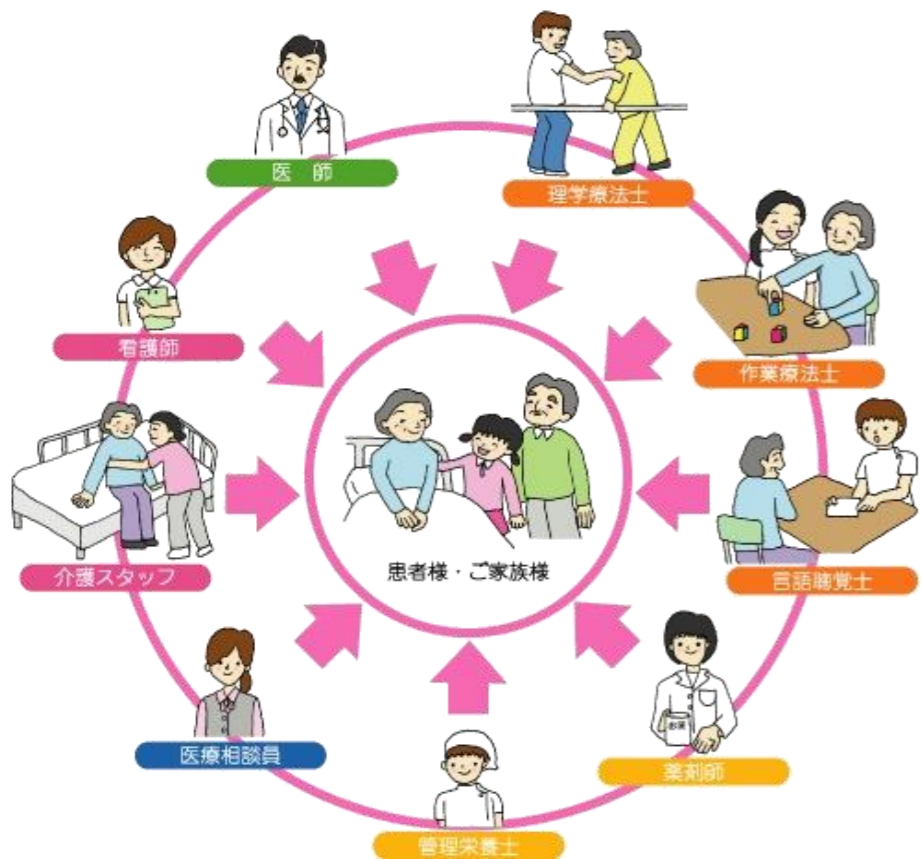
私にとって、このような長丁場の研修は初めてのことであり、立場上重責に感じましたが、全国各地から参加した諸先生方たちとの意見交換や、コミュニケーションにより様々な情報収集ができ、すぐにでも現場で



リハビリテーション科主任  
作業療法士 入野 優也

活用できる取組も得ることができました。既にそれらを参考に新たなシステムを構築し、運用し始めているところです。

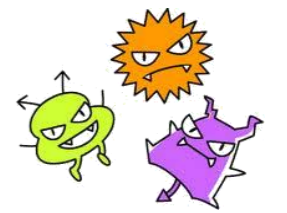
医療サービスの本質が、患者様、ご家族にとりまして最良のものとなるためには、専門職同士の連携がなによりも重要です。当院回復期病棟では、リハビリ専門医をはじめ、従事する職種間が互いに手を取り、早期から在宅復帰を目指すためのサービスを提供させて頂いております。今回のセラピストマネジャー認定が、どこまで皆様のお役に立てるかわかりませんが、微力ながらお力添えさせていただきたいと存じます。



食中毒を引き起こす微生物

# ノロウイルス

に御注意!



## ■ ノロウイルス

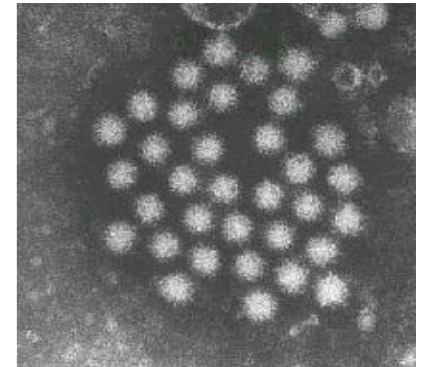
ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は冬場に多く発生する傾向があります。

特に、保育園、学校、福祉施設などで発生した場合は、集団発生につながる可能性がありますので注意しましょう。

## ■ ウイルスの特徴は？

ノロウイルスはヒトの小腸粘膜で増殖するウイルスであり、冬季を中心に、年間を通して胃腸炎を起こします。感染経路は疫学的調査から、生カキの関与が強く指摘されています。また、学校や保育園などで、生カキを食べていないのに集団発生をする事例があり、原因として人から人への二次感染が疑われています。

ノロウイルスは直径0.03マイクロメートル前後のたん白質でできた球の中に遺伝子（DNAデオキシリボ核酸に該当するRNAリボ核酸）が含まれた構造をした生物です。近年、新しい検査法（PCR法）の開発、普及により食品からのウイルスの検査が可能になり、食中毒との関係が明らかになってきました。



## ■ どんな食品が原因となりますか？

原因食品は、水やノロウイルスに汚染された食品、特にカキを含む二枚貝が多く報告されており、東京都の調査でも生カキを食べて発症した患者の約70%からノロウイルスが検出されています。

また、感染者の便や吐しゃ物に接触したり飛散したりすることにより二次感染を起こすことがあります。学校や保育園などの集団給食施設での発生もみられますが、原因食品が特定できない事例がほとんどです。

## ■ どんな症状ですか？

潜伏時間は24～48時間で、下痢、吐き気、腹痛、発熱（38℃以下）が主症状です。通常3日以内で回復します。感染しても全員が発症するわけではなく、発症しても風邪のような症状で済む人もいます。抵抗力が落ちている人や乳幼児では数百個程度のウイルスを摂取することで発症します。

## ■ 予防のポイントは？

- ①カキなどの二枚貝は中心部まで十分に加熱（85℃～90℃で90秒間以上）してから食べましょう。湯通し程度の不十分な加熱ではウイルスの感染力は失われません。
- ②生鮮食品（野菜、果物など）は十分に洗浄しましょう。
- ③トイレの後、調理をする際、食事の前にはしっかり手を洗いましょう。
- ④手洗いの後、使用するタオル等は清潔なものを使用しましょう。



## ■ 二次感染を予防するために・・・

ご家庭や保育園、学校などでは感染者の便、おう吐物には接触しないようにし、接触した場合は十分な洗浄と消毒を行いましょう。

おう吐物や、ふん便で汚れた衣類等を片付けるときは、ビニール手袋、マスクなどを用いましょう。汚れた衣類等は他の衣類とは分けて洗いましょう。おう吐物などを片付けた用具、雑巾類は、塩素系漂白剤でつけ置き洗いをしましょう。

おう吐物などで汚れた床は、塩素系漂白剤を含ませた布で被い、しばらくそのまま放置して消毒しましょう。